



TITLE:

# 境界領域特集II 地球と天体の物理 (1)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

境界領域特集II 地球と天体の物理(1). 物性研究 1972, 18(6): 248-248

ISSUE DATE:

1972-09-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/88525>

RIGHT:

## 地球と天体の物理 (1)

ここに境界領域特集の第二弾「地球と天体の物理」をお届けする。自然界の現象の妙味は物理学者を詩的化するに十分である。夏の日の高くのびる入道雲、雷の稲光、台風、そしてオーロラ等そのダイナミックな現象は子供ならずも興味深い。現在、ともすれば量子論的にミクロな現象を追求することばかりが深遠な（あるいは学術的に意義深い）物理学だとするような風潮が見られるが、それは本当は正しくないだろう。我々生きているものを含めて、地球そして太陽系、宇宙の現象の謎を解くのに、ミクロな立場であろうが、マクロな立場であろうが、高等、下等な学問という評価はあり得ない。物理学者を含めて、すべての科学者はすなおに自然に驚き、それをよく見つめ、解くべき問題を設定すべきであろう。

この特集の(2)では地球を含む太陽系や星及び宇宙の問題がとりあげられる。最近の急速に発展してきた天体物理学の現状と将来に焦点があてられる。

この特集が特に若い研究者に、自然界の現象がいかに謎が多くて、まだ解けていないか、そしてそれが物理の問題なのだという事を訴えるよう期待する。（編集部）

### 目 次

1. 雷放電の物性 .....	小 川 俊 雄 .....	249
2. 雲物理学 .....	磯 野 謙 治 .....	268
3. 地球大気の中間圏、下部熱圏における 中性大気組成と光化学、化学反応 .....	福 山 薫 .....	287
4. 超高層大気と光化学 .....	等 松 隆 夫 .....	302
5. オーロラ .....	佐 藤 哲 也 .....	319
6. 電離層における non-reciprocal な電波伝播 .....	荒 木 徹 .....	338